## 令和2年度 第1回千曲市教育振興審議会次第

期日: 令和2年9月25日(金)午後1時30分

場所:千曲市役所 301 会議室 (3 階)

#### (委嘱書の交付)

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 会議事項
- (1)幹事選出
- (2) 令和元年度事業実績の説明及び意見・提言の聴取

#### 【教育総務課】

- ① 部活動指導員設置事業
- ② 外国語指導助手招致事業
- ③ 小中学校空調設備設置事業

## 【生涯学習課】

- ④ 2020 東京オリパラホストタウン関連事業
- ⑤ 生涯学習基本構想·基本計画推進事業

## 【文化課】

- ⑥ 第23回千曲市太鼓フェスティバル
- ⑦ 越ちひろ展 ミライノ色 ミライノ光 一まちじゅうが美術館一

## 【歴史文化財センター】

- ⑧ 松田家資料整備事業
- ⑨ 稲荷山重要伝統的建造物群保存地区保存事業
- ⑩ 日本遺産認定に向けた取り組み

## 【文化課・歴史文化財センター】

(1) 市内博物館等の共通観覧券発行

#### 【スポーツ振興課】

- (12) 自転車を核とした賑わいのあるまちづくり事業
- ③ 第5回千曲川ハーフマラソン
- (4) 信州ブレイブウォリアーズのB1昇格

## 【第1学校給食センター】

⑤ 給食センター管理運営事業

## 【第2学校給食センター】

⑥ 給食センター管理運営事業

## (3) その他

5 閉 会

## 千曲市教育振興審議会委員

(敬称略)

		(明太小小冊日)
氏 名	役職等	備考
宮﨑 樹夫	【会長】信州大学教育学部長	(学識経験者)
浅井 かよ子	千曲市校長会 会長	(東小学校長)
小池 隆	中学校長 代表	(戸倉上山田中学校長)
矢島 広幸	更埴PTA連合会 副会長	(埴生小学校PTA)
北島 広三	更埴PTA連合会 副会長	(東小学校PTA)
中山 洋一	千曲市公民館運営協議会 会長	(生涯学習推進団体)
寺澤 和冶	特定非営利活動法人 千曲市スポーツ協会 会長	(スポーツ振興団体)
亀山 正明	千曲市文化芸術協会 会長	(文化振興団体)
久保田 英雄	元県生涯学習文化財課指導主事	(歴史文化学識経験者)
君島 一宇	【副会長】一般公募	(公募)
滝沢 祐子	一般公募	(公募)
田島 仁	【幹事】一般公募	(公募)

(任期:平成30年11月1日~令和2年10月31日)

事務局: 教育部長 滝沢 裕一

生涯学習課長 松崎 高志

文化課長 宮坂 敏

第1給食センター所長 中村 信也

教育総務課総務係長 柳嶋 幸孝

教育総務課長 高野 昌一

スポーツ振興課長 滝沢 資之

歴史文化財センター所長 田島 育男

第2給食センター所長 牧 健一

事業名

①部活動指導員設置事業

担当課名

教育総務課

教育振興基本計画 基本目標 I 施策1-1

## 事業費

決 算	<b>額</b> (円)
	2, 811, 330
節別	内 訳(円)
報酬	
給料、 職員手当等	1, 085, 000
賃金	1, 705, 600
報償費	
旅費	20, 730
需用費	
役務費	
委託料	
使用料及び 賃借料	
工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	
負担金、補助 及び交付金	
扶助費	
補償、補填 及び賠償金	
公課費	

財源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	298, 000
地方債	
その他	
一般財源	2, 513, 330

## 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

中学校の部活動指導の充実と教員の負担軽減を図ること を目的に、部活動の顧問を行う「部活動指導員」を配置する ことにより、働き方改革につなげるため実施した。

## 【実績】

屋代中学校にソフトテニス部(年間 312 時間) 埴生中学校にバレーボール部(年間 312 時間) 戸倉上山田中学校に剣道部と陸上部(年間 312 時間) の部活動指導員を配置した。

## 【成果等】

「部活動指導員」は、教員に代わって実技の指導や学校外での活動(大会等)の引率を行うことができることにした。これにより、3年生を受け持っていた先生からは、「部活動指導員に指導していただいている時間を利用し、進路業務の仕事を進めることができた。」また、指導をうけた部員からは、「専門的な指導を受けることができ、技術や戦術の面で力を伸ばすことだできた。」と報告を受けた。

### 時間削減実績

屋代中 7 時間 30 分 埴生中 167 時間 50 分 戸上中(剣道部) 172 時間 戸上中(陸上部) 38 時間

#### 【今後の方向性】

各中学校1名を基本にスタートしたが、今後は増やしていきたいと考えている。(令和2年度は、 更埴西中学校にバレーボール部の部活動指導員を配置する。)

そのような中で、夕方4時からと土日を責任もって指導に あたれる人材がいるかが、最大の課題である。

事業名

②外国語指導助手招致事業

担当課名

教育総務課

#### 基本目標 I 施策1-1

# 事業費 決 算 額(円) 11, 179, 085 節別内訳(円) 報酬 9, 519, 600 給料、 1,627,500 職員手当等 賃金 報償費 旅費 31,985 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	11, 179, 085

公課費

## 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

令和2年度から新学習指導要領が全面実施となる小学校での外国語教育に伴い、早めに慣れ親しむことを目的に実施した。

### 【実績】

1名だったALTを平成30年度から2名増員し、3名体制で外国語教育を実施している。

これにより、千曲市内全小学校の全ての学校で、共同授業の回数が、5・6年生が年30回、3・4年生が年10回、1・2年生が3回と厚みを増すことができた。

#### 【成果等】

小学校教員の多くは大学の教員養成課程において外国語 指導を学んでいないため、英語の指導に不安を抱く人がい る。そのためALTとチームティーチングを行うことによ り、教員の負担の軽減とスムーズな英語学習の導入を実現し ている。

また、小学校入学後における外国語教育への導入を図るため、市内保育園へ年2回程度ALTを派遣し、園児がALTと一緒に歌ったり踊ったりする活動を行った。

これにより、スムーズに外国語教育に入ることができている。

保育園へのアンケート結果(回答12園)

- ・園児や先生にとって楽しかった 12 園/
- レベル 適切 11 園、やや難しい 1 園

#### 【今後の方向性】

今後、どこの市町村でもALTの増員を検討している中で、人材の確保が課題となる。

また、ALTの増員とともに、担任の授業向上のための研修体制を充実させ、外国語教育向上につなげていく必要がある。

なお、ALTの保育園への派遣も、今後増やしていきたい と考えている。

事業名

③小中学校空調設備設置事業

担当課名

教育総務課

#### 基本目標 I 施策1-1

# 事業費 決 算 額(円) 701, 723, 808 節別内訳(円) 報酬 給料、 4,882,500 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 12, 895, 600 使用料及び 賃借料 工事請負費 683, 945, 708 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財 源	内 訳 (円)
国庫支出金	131, 201, 000
県支出金	
地方債	465, 800, 000
その他	
一般財源	104, 722, 808

公課費

#### 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

小中学校の各教室での暑さ対策、熱中症対策として、国の臨時交付金(平成30年度ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金)を利用し、エアコンの設置を行い、夏場における学校での学習環境、生活環境の改善を図る。

#### 【実績】

市内各小中学校のすべての普通教室と特別教室の一部へのエアコンの設置工事を令和元年 10 月末までに完了した。

市内 9 小学校に合計 139 台 (普通教室 128 台、特別教室 11 台) 市内 4 中学校に合計 75 台 (普通教室 55 台、特別教室 20 台)

## 【成果等】

昨年9月から一部の学校で使用を開始し、令和2年度から本格稼働となるが、エアコンが整備されたことにより、学校環境衛生基準に定められた室温28度以下を維持でき、児童・生徒が授業に集中できる環境を整えることができた。

## 【今後の方向性】

エアコンの使用による電気料金の高騰が懸念されるため、 適切な使用方法について研究を続け、学校へ指導を行ってい く。3年に一度の業者による法定点検に併せた時期のフィル ター清掃のほか、学校による適正な設備管理を行う。

また、毎年のクラス数の変動や教室の使用状況を調査し、必要に応じて追加設置を検討する。

事業名

④2020 東京オリパラホストタウン関連事業

担当課名

生涯学習課

基本目標 I 施策2-1

## 事業費 決 算 額(円) 4, 702, 280 節別内訳(円) 報酬 給料、 2, 712, 500 職員手当等 賃金 報償費 445,000 旅費 330,600 需用費 1, 114, 180 役務費 委託料 使用料及び 100,000 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填

財 源	内訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	4, 702, 280

及び賠償金

公課費

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

2020 東京オリパラ競技大会を契機に、ホストタウンとしてハンガリーとの交流を深め、市民の国際感覚を涵養し、観光地としてのインバウンドへの対応力を高め、かつ海外の豊かな文化・芸術を享受し、市民が住んでいる地域に誇りがもてるような運営に努める。

#### 【実績】

7月12日「魅惑の音楽と写真でつづるハンガリーの夕べ」 更埴文化会館小ホール 参加者50名

7月13日「世界に羽ばたく若き音楽家によるコンサート」 戸倉創造館 参加者200名

8月20日ハンガリー人形劇「キップコップとティップトップ」 戸倉創造館 参加者100名

9月1日 ハンガリー料理教室

戸倉創造館調理室 参加者 20 名

10月6日「ハンガリーワイン&音楽の夕べ2019」

共催:千曲市ハンガリー友好協会

上山田文化会館 参加者80名

11月23日ハンガリー映画「心と体と」上映会

上山田文化会館 参加者 90 名

ほか、ホストタウン事業等の情報収集やハンガリー卓球代表 選手団の事前合宿、オリパラ期間中のコミュニティライブサイト等の準備を行ってきた。

#### 【成果等】

ハンガリーの様々な文化に触れることで、真の友人として の相互理解をより深めることができた。

また、サウジアラビアの卓球ナショナルチームの合宿を受け入れたことで、トップアスリートと市民との交流方法に関する貴重な経験をすることができた。

#### 【今後の方向性】

ョーロッパ圏からのインバウンド観光のみでなく、国内外のトップアスリートの合宿地として練習場、宿泊場所、移動手段などを提供するスポーツツーリズム推進のための環境整備を進める。

市民と共にハンガリーとの文化・芸術分野の交流や人的、経済的な交流も進めていく。

事業名

⑤生涯学習基本構想·基本計画推進事 業

担当課名

生涯学習課

基本目標 I 施策3-1、施策3-2

# 事業費 決算額(円) 34,806,648 節別内訳(円) 酬 料、 11,012,750

## 報酬 給料、 職員手当等 賃金 1, 107, 120 報償費 7,081,070 旅費 45, 200 需用費 847, 544 159,696 役務費 委託料 14, 400, 000 使用料及び 153, 268 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	406, 000
地方債	
その他	2, 168, 500
一般財源	32, 232, 148

補償、補填

及び賠償金

公課費

#### 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

市民の「学ぶ力」を引き出し、生涯学習を通じた交流を進めることで、さまざまな成果を生み出し、それにより生まれた成果を地域社会に還元していく。

## 【実績】

青少年を対象とした体験や知識習得の場の提供を 156 回 実施し、延 3,485 人が参加した。

成人を対象とした知識習得と人との交流の場の提供として 695 回の講座を実施し、延 13,745 人が参加した。

外国人を対象とした言葉の学習と日本の習慣の知識習得の日本語教室を32回実施し、延130人が参加した。

指定管理者制度による IT 関連講習会を 133 回実施し、延 1,598 人が参加した。

#### 【成果等】

学びとしてのメニューを社会変化や時代に合わせたもの を取り入れたことにより、市民の学ぶ意識が高まった。

また、人と人とがつながることにより学ぶ仲間が増え、新 しいアイデアが生まれ、今後の生涯学習の推進へつながった。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響により2月以降 開催が中止となった講座等があり、昨年度と比較すると19 講座減、参加者1,374人の減となった。

## 【今後の方向性】

新しい生活様式により、学びの場のスタイルを変えることが必要であり、第二次千曲市生涯学習基本構想・基本計画において目標としている各項目の実践形式を確立し、引き続き市民の「学ぶ力」を引き出していく。

事業名

⑥第23回千曲市太鼓フェスティバル

担当課名

文化課

基本目標 I 施策2-3

# 事業費 決 算 額(円) 347, 615 節別内訳(円) 報酬 給料、 270,800 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 67,836 役務費 委託料 8,979 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	347, 615

公課費

#### 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

市内で活動する和太鼓演奏団体を中心としたフェスティバルを実施することにより、市民に伝統音楽に触れる機会を提供するとともに参加団体の活性化、伝統文化の振興を図る。

#### 【実績】

- 1. 開催日 令和元年12月1日(日)
- 2. 会場 上山田文化会館 ホール
- 3. 参加団体 6団体(市内5団体、市外1団体)
- 4. 来場者 342人

## 【成果等】

第23回まで開催できていることは成果と言える。入場者 数は前年度の288人からわずかではあるが増加した。令和 元年度東日本台風により被災し事業の中止が多い中で、「み んなを元気にしたい」という目的で開催できたことは良かっ たのではないか。

### 【今後の方向性】

今後も継続していくことが大切であると考えている。楽しく開催することを目的とするのか、日頃の練習の集大成として高度な演奏の発表の場とするのか、両方を目指した場とすうのかは今後の検討課題。

参加団体、来場者ともにいかに増やしていくかについても 検討の必要性がある。

事業名

⑦越ちひろ展 ミライノ色 ミライノ光 ーまちじゅうが美術館ー

担当課名

文化課

基本目標 I 施策2-3

## 事業費 決 算 額(円) 9, 479, 655 節別内訳(円) 報酬 44,500 給料、 1,627,500 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 688, 500 78, 300 役務費 委託料 7,011,745 使用料及び 29, 110 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財源内訳(円)	
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	1, 624, 696
一般財源	7, 854, 959

## 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

千曲市出身の現代美術作家越ちひろ氏の作品展覧会、ミュージシャンとの共演によるライブペイントを更埴文化会館で開催。アートまちかど、屋代駅市民ギャラリーでの展示、市民との交流イベントを開催し、郷土の芸術家(アーティスト)及び市民の活躍・発展へとつなげる。

#### 【実績】

- ① 更埴文化会館
- ・小ホール「新作展示」「公開制作」9/1~9/29 入場者: 2,367 人
- ・大ホール「ミュージシャンとのコラボライブペインティング」9/1

入場者: 330 人

② アートまちかど

「代表作品展示&ファッションブランド発表」9/1~10/31 入場者:1,801人

③ 屋代駅市民ギャラリー 「参加型作品展示」10/1~26 入場者:1,154 人

収入: 1,624,696 円

- ・ライブペインティング 195,960円
- ・展覧会パスポート 1,196,470円
- •物販収入 138,460円
- ·委託販売手数料 93,806 円

#### 【成果等】

更埴文化会館で初めて有料の展覧会(美術展)を開催した。 (株長野放送との連携した企画展開や展覧会独自のホームページを作成する等新たな試みも実施した。これまでの舞台観覧者だけでなく、美術鑑賞による集客をもたらした。商工会議所を中心とした実行委員会が開催する事業との2本柱で事業展開できたことは今までにない成果である。

- ・規模の大小は別として、今後も地元出身の芸術家を取り上げた企画を継続的に開催していきたい。
- ・美術の振興拠点としての文化会館の利用、他施設との共同 展示など考えていきたい。
- ・企画展開、宣伝等委託、料金設定等大きい事業を展開する ことにより学んだことも多くあり、今後の参考としたい。

事業名

⑧松田家資料整備事業

担当課名

歴史文化財センター

#### 基本目標 Ⅱ 施策1-1

## 事業費 決 算 額(円) 41, 226, 037 節別内訳(円) 報酬 給料、 5, 425, 000 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 514, 222 役務費 89, 389 委託料 15, 146, 372 使用料及び 450, 494 賃借料 工事請負費 19, 360, 000 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 240, 560 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財源內訳(円)		
国庫支出金	7, 890, 000	
県支出金		
地方債	6, 900, 000	
その他		
一般財源	26, 436, 037	

公課費

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

- ・千曲市歴史的風致維持向上計画に基づき、八幡地区の 活性化を図るため、県史跡等に指定されている松田家 の整備を行なう。
- ・武水別神社神主 松田家の建物を整備し、史料を広く 公開し、活用を図る。

#### 【実績】

- ・街なみ環境整備事業として、松田家大門塀等修理工事を実施した。
- ・平成29年9月の火災で焼損した、松田家主屋等の再整備に向け、現況調査を実施し、実施設計に着手した。
- ・今後の修理工事のため、仮設通路設置工事を実施した。

## 【成果等】

- ・松田家大門の修理工事の実施により、八幡地区の街なみ環境の整備に寄与した。
- ・火災からの再整備を実施するための、準備工事を実施した。
- ・火災により中断していた、八幡地区の街なみ環境整備 事業が再開できた。

- ・松田家主屋等の再整備を実施し、令和4年度の一般公開を目指す。
- ・実施設計の中で工事費の圧縮を図り、火災保険の範囲内で再整備を行なう。
- ・一般公開に向けて、施設の展示計画や維持管理の方法を検討する。

事業名

⑨稲荷山重要伝統的建造物群保存地区 保存事業

担当課名

歴史文化財センター

## 基本目標 Ⅱ 施策1-1

## 事業費

決 算	額(円)
	13, 561, 650
節別	内 訳(円)
報酬	
給料、 職員手当等	5, 425, 000
賃金	
報償費	10,000
旅費	218, 690
需用費	110, 000
役務費	
委託料	300, 000
使用料及び 賃借料	903, 000
工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	
負担金、補助 及び交付金	6, 595, 000
扶助費	
補償、補填 及び賠償金	
公課費	

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	3, 277, 000
県支出金	196, 000
地方債	
その他	
一般財源	10, 088, 690

#### 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

- ・重要伝統的建造物群保存地区に選定された、稲荷山の 伝統的な建造物の修理事業に補助を行ない、環境整備 を図る。
- ・稲荷山地区の活性化の核となる、整備計画の策定及び 施設の整備を実施する。

#### 【実績】

- ・伝統的建造物1件の修理事業に補助を行なった。
- ・環境整備のため、非伝統的工作物1件の修景事業に 補助を行なった。
- ・東京芸術大学に依頼し、地区内の建造物2件の調査を実施した。

#### 【成果等】

- ・修理事業の実施により、伝統的建造物が本来の姿を 取り戻すことができた。
- ・稲荷山地区活性化の中心施設を予定している「鍵の手」 土地の賃貸借契約を締結した。

- ・ 今後も伝統的建造物の修理を進め、重伝建地区の保存 事業を進めて行く。
- ・稲荷山地区活性化のためのマスタープランを令和2、3 年度の2か年で策定する。
- ・「しんきん跡地」、「鍵の手」の整備について、マスター プランに位置付けると共に、関係機関と調整を図る。

事業名

⑩日本遺産認定に向けた取組み

担当課名

歴史文化財センター

#### 基本目標 Ⅱ 施策1-2

# 事業費 決 算 額(円) 3, 318, 580 節別内訳(円) 報酬 給料、 3, 255, 000 職員手当等 賃金 報償費 26,620 36,960 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	3, 318, 580

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

・日本遺産の認定を受け、地域の文化財を活用した観光振興 を行い、地域の活性化を図る。

#### 【実績】

- ・平成31年1月に3回目の申請を行なったが、認定とならなかった。
- ・4回目の申請にあたり、文化財、観光関係の有識者からの意見聴取を行った。
- ・令和2年1月、「月の都 千曲」のタイトルで申請を行った。

#### 【成果等】

・令和2年6月19日に「月の都 千曲ー姨捨の棚田がつく る摩訶不思議な月景色「田毎の月」」が日本遺産に認定さ れた。

- ・日本遺産認定となったことから、地域活性化計画に基づき、 事業展開を行っていく。
- ・事業主体となる協議会の設立を行なうと共に、活性化計画 の実現に向けて、全庁を挙げた取り組みが必要となる。

事業名

①市内博物館等の共通観覧券発行

担当課名

文化課・歴史文化財センター

#### 基本目標 Ⅱ 施策1-2

# 事業費 決 算 額(円) 2, 335, 000 節別内訳(円) 報酬 給料、 2, 170, 000 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 165,000 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2, 335, 000

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

- ・公共施設等総合管理計画に基づき、令和元年 10 月に博物 館等の観覧料の改定(値上げ)を行なったことから、入館 者の減少を防ぐために実施する。
- ・共通観覧券によって博物館等施設を巡っていただくこと により、施設の有効利用とにぎわい創出が期待される。

#### 【実績】

- ・観覧料等の改定に併せ、共通観覧券を発行した。
- ・大人 1,000 円、高校生 500 円で博物館等施設 6 館を観覧 することができる観覧券。
- ・通常観覧料大人300円/館であるため、割引率約44%と なっている。

## 【成果等】

・観覧券発行直後に台風19号災害、新型コロナウイルスによる休館となってしまったため、利用がない状態。

#### 【今後の方向性】

非常にお得な観覧券であるため、積極的に周知し、利用の促進を図ってまいりたい。

事業名

②自転車道を核とした賑わいのあるまちづくり事業

担当課名

スポーツ振興課

基本目標 I 施策2-2

事業費					
決 第	類 (円)				
	1, 113, 703				
節別	内 訳 (円)				
幸促酉州					
給料、 職員手当等	271, 250				
賃金					
報償費	291, 713				
旅費					
需用費	231, 607				
役務費	62, 613				
委託料	256, 520				
使用料及び 賃借料					
工事請負費					
原材料費					
公有財産 購入費					
備品購入費					
負担金、補助 及び交付金					
扶助費					
補償、補填 及び賠償金					
公課費					

財源	内 訳 (円)
国庫支出金	421, 227
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	692, 476

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

県道上田千曲長野自転車道線は、千曲川左岸を南北に抜ける自転車専用道であり、サイクリングでの利用はもちろんのこと、ランニングを安全・快適に楽しめる資源である。これを活かし、戸倉上山田地区に散在する日帰り入浴施設をセットで楽しむライフスタイルを提案する「千曲ラン」を推進することにより、市民のスポーツ振興や観光振興につなげる。

#### 【実績】

白鳥園の指定管理者(日本レクシー)と連携し、平成31年3月から6月と9月から12月(酷暑時、降雪期は実施しない)に、月2回ランニングイベントを開催し、1回あたり15人前後のランナーの参加があった。地方創生推進交付金を活用し、「千曲ラン」のパンフレット作成や、おばすてマラソン及び元旦マラソンの開催経費に充当した。

#### 【成果等】

千曲川沿いの平坦で走りやすいコースを実際に体感していただいたランナーからは好評であった。秋に開催される千曲川ハーフマラソン(令和元年度は台風の影響により中止)への参加に向けた PR も行った。

## 【今後の方向性】

県道上田千曲長野自転車道線におけるサイクリング及びランニングの振興のため、引き続き「千曲ラン」を軸に PR を実施する。

事業名

③第5回千曲川ハーフマラソン

担当課名

スポーツ振興課

基本目標 I 施策2-2

# 事業費 決 算 額(円) 4, 340, 000 節別内訳(円) 報酬 給料、 4, 340, 000 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	4, 340, 000

## 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○市民の健康増進、観光振興およびスポーツ振興に資することを目的として開催する。また、市民によるボランティアスタッフに大会をサポートしていただくことを通じて、スポーツを「みる」「支える」きっかけづくりとする。

#### 【実績】

ランナーのエントリー者数は1,640名であったが、令和元年 東日本台風の影響により、大会の開催を中止した。

#### 【成果等】

大会は中止となったが、エントリーしていただいた参加者に対し、参加賞として用意していた大会オリジナル Tシャツ及び市内の日帰り入浴施設の無料券を配布した。無料券は355人の利用があった。

## 【今後の方向性】

今年度より開催日程を11月に変更した。今年度は中止とはなったが、前回大会よりエントリー者数は増加したため、引き続き11月に開催することとし、さらなる参加者増(最低2,000人)を目指し、ランナーに選ばれる大会となるよう魅力向上に努める。

事業名

④信州ブレイブウォリアーズの B1 昇格

担当課名

スポーツ振興課

基本目標 I 施策2-2

# 事業費 決 算 額(円) 1, 404, 850 節別内訳(円) 報酬 給料、 1, 356, 250 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 48,600 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1, 404, 850

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

地域密着型プロスポーツの支援を通じ、千曲市の知名度向上、観光振興及びスポーツの振興を目的とする。

#### 【実績】

B1昇格の条件の一つである 5000 席のホームアリーナの確保に向け、長野市と施設の利用調整等の協議を進めた結果、ホワイトリングをホームアリーナとして使用できることとなった。また、2018/2019 シーズンの B2 優勝の際に、庁舎及び屋代駅に懸垂幕・横断幕を設置した。

#### 【成果等】

ホワイトリングへのホームアリーナ移転が実現したことは、信州ブレイブウォリアーズが B1ライセンスを取得する一助になったといえる。千曲市にとってもチーム発足以来の悲願であった B1 昇格を機に、トップレベルのバスケットボールを間近で目にする機会が増え、交流人口の増加や市民のスポーツ振興に大きく貢献することが期待される。

## 【今後の方向性】

B1昇格により、更埴体育館(ことぶきアリーナ千曲)で開催されるホームゲーム数が年間4試合ほどとなるが、引き続き市民がチームを応援する機運を盛り上げていく。

事業名

①給食センター管理運営事業

担当課名

第1学校給食センター

基本目標 I 施策1-2

## 事業費

決 算	額(円)
	259, 102, 563
節別	内 訳(円)
報酬	6, 203, 250
給料、 職員手当等	5, 425, 000
賃金	20, 679, 990
報償費	
旅費	
需用費	203, 031, 170
役務費	1, 634, 529
委託料	17, 666, 380
使用料及び 賃借料	2, 499, 721
工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	
負担金、補助 及び交付金	35, 770
扶助費	
補償、補填 及び賠償金	1, 834, 053
公課費	92, 700

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	168, 635, 854
一般財源	90, 466, 709

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

管内の小中学校に安全・安心な給食を提供する。

## 【実績】

総給食数 3,131 食 年間給食数 8 校平均 188 日 (アレルギー対応給食該当者 68 名)

PTA 等による施設見学・試食 年間実施回数 11 回 栄養士による食教育実施 年間実施回数 21 回

児童のセンター見学2 校 3 回親子試食会5 校 7 回一般見学試食会2 回学校給食訪問8 校 8 回

(会議開催状況)

千曲市学校給食センター運営委員会4回千曲市食物バルドー対応専門部会2回学校給食担当者会4回

#### 【成果等】

施設見学・試食会等の行事を通じて、学校給食を提供にあたり、調理業務の実態と衛生管理の必要性や、成長期の栄養の確保と献立の工夫、地域食材の活用などについて、保護者や一般市民に対して理解を深めることができた。

学校給食センター運営委員会において、物価動向や近隣市の状況等を踏まえた審議を通じて、令和2年度より給食費を1食当り15円増額改定することとなった。

〔改定内容〕

単位:円

			1 1	, •		
区分	小学校児童			中	学校	
	低学年		低学年高学年		生徒	
	1食	月額	1食	月額	1食	月額
改定前	265	4, 900	280	5, 100	320	5, 900
改定後	280	5, 200	295	5, 400	335	6, 200
増額	15	300	15	300	15	300

R 1 地域食材使用率 千曲市産 37.54%、県内産 11.62%

- ・学校職員の事務負担軽減のため、学校給食費徴収事務を 各学校から教育委員会(学校給食センター)へ移行するた めの準備を進める。
- ・増加するアレルギー対応について、取扱い指針の見直し。
- ・地域食材の活用と利用率の向上。

事業名

16給食センター管理運営事業

担当課名

第2学校給食センター

基本目標 I 施策1-2

## 事業費

決 算	額(円)
	149, 534, 297
節 別	内 訳(円)
報酬	4, 048, 800
給料、 職員手当等	5, 425, 000
賃金	9, 688, 760
報償費	
旅費	
需用費	108, 647, 128
役務費	811, 241
委託料	5, 619, 807
使用料及び 賃借料	3, 308, 766
工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	10, 916, 340
負担金、補助 及び交付金	23, 600
扶助費	
補償、補填 及び賠償金	1, 007, 555
公課費	37, 300

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	90, 837, 176
一般財源	58, 697, 121

## 主要な施策の成果等

### 【事業目的】

管内の小中学校に安全・安心な給食を提供する。

#### 【実績】

1. 給食提供 5 校 (小学校 4 校、中学校 1 校) 給食数 1,697 食 給食日数 5 校平均 188 日 (アレルギー対応給食該当者 39 名)

## 2. 主な経過

施設見学・試食(保護者・一般)	2 旦
栄養教諭による食教育	4 回
児童の施設見学	3校 3回
親子給食会	2校 5回
学校給食訪問	5校24回
会議 学校給食担当者会	6 回

#### 3. 地域食材使用率(重量換算)

市内産	県内産
36.62%	13.84%

#### 【成果等】

- ・ 栄養士、調理従事者の努力により、安全な給食を提供することができた。
- ・ 学校訪問、給食センター施設見学、試食会などを通じ、 学校給食への理解を深めてもらうことができた。
- ・ 物価動向等を踏まえ、R2 年度から給食費を現行より 1 食15円、定額集金で月額300円増額改定することとなった。

- ・ 衛生管理の徹底と工夫、設備・機械器具類の適切な維持 管理等により安全な給食の提供に努める。
- ・ 学校給食費集金事務を学校から市(教委・学校給食センター) へ移行するための準備を進める。
- ・ アレルギー対応給食について、取り扱い指針の見直しを 検討する。
- 地域食材の活用を図る。